

家庭訪問4箇条 「おしゃもじ」

お みやげをもっていきましょう。

なにも、菓子折をもって行こうというのではありません。

ご家庭を訪問する前には、必ずその家の子どもの良いところを、3つは具体的なエピソードを交えて話せるようにしておきましょう。

しゃ べりすぎないようにしましょう。

あくまで、保護者の方のお話を聞きに行くのであって、教師の主張をしにいくのではないのです。そこが懇談会と違うところです。

また、話してはいけない「5悪口」

子どもの悪口	他の子どもの悪口	他の家庭の悪口
他の教師の悪口	学校運営に関する悪口	

残念なことです、このような話題を向こうからされることもあります。その際も同調したり、意見を述べたりもせず、「そうなんですか」と只きけばいいのです。また、担任教師に対する苦言もあります。

その際も、よほどのことがないかぎり反論してはいけません。

「ご指摘ありがとうございます」と言っておくことです。

も ち帰りましょう。

自分では判断できないこと、複雑な問題である場合は、格好つけずに次のように言いましょう。

とても大切な問題なので、学校に持ち帰ってみんなで相談してから、改めてご報告いたします。

その場で答えられないことは、まったく恥ずかしいことではありません。

むしろ、分からないことを「分からない」と言えることは、責任ある態度なのです。

じ かんをまもりましょう。

他人の気持ちや状況を考えるというのは、教師として基本のきです。

こんな方がいるかも知れません。

- ・パートの合間を縫って家庭訪問を受けられている。
- ・お仕事を休んだ。
- ・貴重な休みの日である。
- ・次の用事が入っている。

一日にたくさんの親御さんと話をするには、決して楽なことではありません。でも、親御さんのお話に耳を傾けられる余裕を忘れないようにお互い頑張りましょう。

2, 夢を持たせる

学級開きで、ネタは違うにしろ私は人間の可能性を語ることにしています。
それは、「人間やればできるのだ」という夢を持たせることです。

1 5 3 0 5 0 6 0 4 5 6 5 9 5

『何の数字でしょう？これはね、先生が教えたある6年生の算数のテストの点数なんだ。ひどく算数が苦手だったんだ。だけど、その子はノートをこつこつととにかくきれいに書いていたんだ。すると、一学期こんなに高い点数がとれるようになったんだよ。もしも、俺はだめだと思っている人、勉強が苦手だと思っている人、私って短気なんだよね。私って、人前で話すのが苦手、と思っている人。全員心配しなくていい。自分で自分を見捨てない限り、必ず何とかなるから、努力を続ける限り、何とかなるよ。昨日までの自分よりも一歩でも二歩でも成長するんだ。君たちなら必ずできる』
こんな風に話すのです。

3, 夢を実現させる

しかし、残念なことに、それも事実を作らなければ、お題目指導です。
事実を作ってやるのです。
何でもいいのです。

ノートがきれいに書けるようになった、跳び箱が跳べた、音読をしたらみんなが、拍手してくれた。

絵を描くのが好きになった。

水泳で10メートル泳げるようになった。

こうした小さな事実は、次の事実を生み出します。

あの子ができたんだから俺だって、となるわけです。

そんな事実を積み重ねてやるとき、学級に波及効果が生じてみんながのびていくのではないのでしょうか。

4, リーダーシップを学ぶ

リーダー論のたぐいの本はちまたにあふれています。

しかし、読みやすく教師にも当てはまるとなるとそうそうないものです。

とりあえず、次の二つの本をご紹介します。

ジーコ『「最強集団」はこうしてつくられる ジーコのリーダー論』(ごま書房)

Cパーキンソン/Mルストムジ『パーキンソンのリーダーシップバイブル』

(三笠書房)